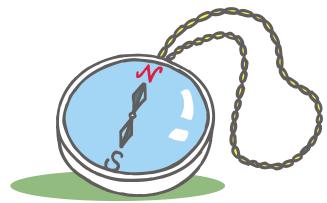


# 羅針盤



第30号

令和2年(2020年)12月25日(金)

## ◆ 「あきらめないこと」

日本の登山家で著名な植村直己という人を皆さん知っていますか。彼の言葉に、「あきらめないこと。どんな事態に直面してもあきらめないこと。結局、私のしたことは、それだけのことだったのかもしれない。」があります。この1年間を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症によって大きく生活形態が様変わりしてしまったと言わざるをえない年になりました。そのような中でも、「あきらめないこと」や「あきらめてはいけないこと」もたくさんあったと思います。年が明けるといよいよ卒業までは2か月余りとなる3年生の皆さんには、特に「あきらめない」という気持ちを持ち続けて、自分が望む進路に向けて、着実に進んでいってもらいたいと思います。また、今年の漢字は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、3密（密閉、密集、密接）を回避することが多くの場面で取り扱われたことから「密」が選ばれましたが、来年こそは災いが起らないような年になってほしいと願わずにはいられません。登山家の植村直己さんと同じく、日本の登山家でもあり、冒険家でもある三浦雄一郎さんは、「夢があるから頑張れた。」と言っています。「夢」を持つと行くこと、これは本当に大事なことです。

「夢」が「現実」となるように、努力すること、結果として「現実」とならないことがあるのも事実ではありますが、「夢」の実現に向けて頑張り続けたことは、決して無駄にはなりません。以前にもお伝えしたことがあるように、「焦らず」、「慌てず」、「諦めず」に、地に足をつけて努力を重ねることが何よりも大切であることに気がついて、自分自身の努力を認められる人へと成長してもらいたいと思います。



## ◆ 「あ・ひ・る」人間になろう！

生徒会役員や学級役員が11月の下旬に前期から後期の人たちにバトンが渡され、後期の目標も引き続いて「あひる人間になろう！」に決定しました。前期の目標を更にバージョンアップして、あいさつを“自発的に”、人の話を“最後まで”聴く、そして、ルールを守るとなって、「自発的に」そして「最後まで」をより意識して取り組んでほしいということが確認されました。また、挨拶ウィークも継続して取り組まれます。生徒の皆さん一人ひとりがしっかりと意識して、きちんと挨拶をすることで気持ちの良い朝を迎え、充実した学校生活を過ごすことができるよう、心掛けていきましょう。

明日より冬季休業期間に入ります。新たな年を迎える冬休みではありますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、3学期も引き続き、住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてよろしくお願ひいたします。 (校長 坂井伸治)

